

# コミュニケーションスキル向上を目的とした ショートケアプログラムに参加しませんか？

自閉スペクトラム症や注意欠如多動症などの発達障害ではコミュニケーションや生活面でのトレーニングが重要であることがわかってきました。

筑波大学医学医療系精神医学では昭和大学で開発中の「発達障害を有する大学生へのショートケアプログラム」を用いて、コミュニケーションや生活面での改善を図る研究を行っています。

皆様のご参加をお待ちしています。



研究の名称：筑波大学における発達障害学生を対象としたショートケアプログラムの検証

参加者募集期間：2022年春休み～2025年夏休み

対象：筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局あるいは学生相談室で支援中の、自閉スペクトラム症もしくは注意欠如多動症患者の診断を受けているまたはその傾向のある大学生及び大学院生

今期募集人数：下記プログラムに参加する群（6名）と不参加群（6名）

※プログラム不参加群の方には発達障害に関する書籍をお配りし、情報提供のみを行います。

方法：下記プログラムに参加していただき、プログラム前後でのアンケートと在学中半年毎の転帰調査（修学継続、卒業、就労の有無など）を行い、プログラム不参加群と比較します。

場所：総合研究棟D404

＜プログラム＞※内容は若干変更することがあります

～前期（2023年夏休み）～

第1回（8/24 10:00～12:00）：オリエンテーション／学校での困りごと

第2回（8/31 10:00～12:00）：発達障害について

第3回（9/7 10:00～12:00）：自分の特性を知る

第4回（9/14 10:00～12:00）：ピアサポート

第5回（9/21 10:00～12:00）：上手な会話

第6回（9/28 10:00～12:00）：人との関係作り

第7回（10/5 10:00～12:00）：質問をする、ほめる

～後期（2024年春休み）～ ※日程は前期プログラム終了後に調整します

第8回：発達障害の就労について

第9回：身だしなみ

第10回：自分の適性を考えよう／自分の特性をどのように伝えるか

第11回：履歴書、模擬面接、卒業式

申し込み方法：本研究に参加を希望する学生は、【2023年8月15日(火)までに】

下記(1)～(3)について、[shortcare@md.tsukuba.ac.jp](mailto:shortcare@md.tsukuba.ac.jp)にお送りください

(1)氏名 (2)学籍番号 (3)エントリーする群（参加群か不参加群）。参加の場合、前期プログラムに7回のうち、参加できる日程。

問い合わせ先：筑波大学附属病院デイケア 029-853-3644 担当：羽田

研究責任者：筑波大学医学医療系 教授 新井 哲明